

車座トーク（自治会と市長との意見交換会）開催報告

対象地域：菊神自治会

開催場所：菊川の里会館

開催日時：平成 28 年 12 月 2 日（金）19 時 00 分～20 時 45 分

参加者：自治会側【地域住民の方 35 人】

市側【染谷市長、牛尾理事、眞部危機管理部長、森田病院事務部長、三浦秘書課長、浅田金谷南北地域総合課長、秋山協働推進課長、駒形戦略推進課係長、清水金谷南地域総合課係長】

内 容

① 増田自治会長あいさつ

・事前に組長会で出された質問に沿って進めていきたい。時間があればせつかくの機会なので皆さんから質問を出していただきたい。

② 市長からの市政報告

■はじめに

・今までは『市長と語ろう』ということでやってきたが、呼んでいただくところと呼んでいただけないところがあったため、この車座トークは、市内全ての 68 自治会をまわるといことで実施している。

・また、今年と来年の 2 年をかけて次の総合計画（H30～37）の策定作業を行っているが、この他にも、国土利用計画島田市計画や中心市街地活性化基本計画、公共施設再配置計画、国土強靱化計画などの策定もしていく必要があることから、各地域の課題、特色、さらにはどのような取り組みをしているのかを耳で聴き、肌で感じて、それを市政に反映したいということでもまわっている。

・ほんの 4～5 年前と行政のおかれている状況が違う中、これからの島田、これからの行政についてもお伝えしていきたいということも実施の理由の一つである。

・市議会が開催されている中、議長を除いた 17 人の議員の皆様から御質問をいただいている。島田を良くしようとするお互いの意見交換、より良い島田を目指して一緒にやっている。

・静大附属島田中学校が地方自治を学んだということで市に政策提言をいただいた。120 人分の政策提言である。観光による市の活性化策が提案内容には多かった。大井川鐵道の活用、川根地域の環境や自然を活かす、神谷城地区の棚田など、地域資源を活かした提案で、このような中学生から地域自治を学ぶことは、大人になってからのまちづくり、地域づくりにきっと活かせると確信している。

**■菊神自治会の人口、世帯について**

- ・菊神自治会の11月30日現在の世帯数は181世帯、人口は614人で、高齢者人口（65歳以上）は221人、高齢化率は36.0%となっている。市の平均が29.5%。平均値よりも6.5%高いが、元気な高齢者が多いところ。15歳以下の人口は51人で人口に占める割合は8.3%となっている。市の平均は13.7%なので、5ポイントくらい平均値より少ない。
- ・市内の中心部では、高齢化率が4割を超える地域もある。川根では5割を超える集落もある。やる気のある皆さんが多い地域であると思う。

**■地域の抱える課題等について**

- ・島田に限らず、日本中で今、一番課題となっていることは人口減少。
- ・かつては、土地の値段が上がり、給料も上がり、全てが右肩上がりだった。こういう時代だと、人生設計（老後についても）ができた時代であった。
- ・明日は今日より良くなるといった（高度成長期）と違って、いつリストラになるかもしれない、給料も上がるかわからない、土地が値上がりする目途がないことに加え、優良企業であっても業績が不振となったり、非正規雇用の若者が増え、さらに結婚したくてもできない、子どもを産みたくても産めないといった人が増える日本の社会は、我々が若い頃の夢を描いていた時代と違う時代になってきている。
- ・相続放棄によってまちには空き家も目立つようになってきた。みんなが不安に駆られている時代となっている。
- ・資産価値等から相続しなくなると法定相続人が多くなり、相続手続きが煩雑になる。民間の土地開発などが相続問題で実施できないという弊害も出ている。
- ・一方で、あと30年後くらいには、働いて税金を払ってくれる人の数が減っていく。（人口の約半数になると推計されている。）
- ・かつて、税収増が見込めた時代には、市が借金しても、次の世代の人たちが返していけるといって、世代間の分配の中で都市経営が行われてきた。
- ・このような都市経営を続けていたら若い人に選ばれなくなる。それは、若い人も島田に住んでやりたいこと（自分たちの政策を形にすること）があると思う。自分たちの時代のことは自分たちで何とかしようという考え方を持たないと、持続可能な都市経営はできない。これは一般論として御理解いただけたらと思う。
- ・国も1,000兆円以上の借金がある中で、歳入57兆円に対して、支出が100兆円だった。33兆円は国債（借金）で補っている。
- ・こういう時代にあって、地方でも同じ状況にある。これからの時代、なんでも行政にお任せは難しい。地域の課題を地域で解決していただくために取り組みが市内でも見受けられる。
- ・高齢者が、公民館で放課後児童クラブを行っているところもある。近隣の小学校まで、地域住民が放課後児童クラブまで送迎してくれている地域もある。
- ・市がワゴン車と保険とガソリンを負担して、地域の足を確保するために、地域がボランティアなどの運転手をお願いしていくことも計画している地域もある。
- ・地域の助け合いの事例として、ある地域では、500円の券などを活用して、地域の人達で助け合う生活支援のサービスを行っていく計画がある。元気な高

齢者はサービスを提供し、たとえ 500 円でも収入になる。

- ・高齢者の見守り、子どもたちの見守り、防災力の強化（防災ボランティアの登録）など、様々な地域がこうした取り組みをはじめている。（地域に差が出る時代である。）
- ・菊神の地域は、地元の皆さんが地域をよくしようとすることに熱心に取り組んでいただいている。自治会は小さな自治組織の単位で、行政と一緒に頑張ろうという気持ちになってくれるとありがたい。
- ・来年、「すぐやる係」を「すぐやる課」にする。もう一度、課にすることによって、行政がやるべき仕事、行政と地域で一緒になってやる仕事、（行政が）材料費を出して地域のお力による仕事に分けながら協働のまちづくりを進めていきたい。
- ・次の世代に借金を残すようなことはしたくない。
- ・先を見据えた市政運営が必要。10 年先の島田市を見据えた行政運営が必要。若い人がこの街に住みたいという、雇用と住まいをはじめ教育、子育て施策が重要である。
- ・新病院の建設を進めているが、事業費は現在 247 億円としている。今後精査して、詳細をお示しできると思うが、こうした情報もしっかりと皆さんにお出しして、優先順位を付けて行っていく必要がある。
- ・市内に 25 ある小中学校のほとんどが昭和 40 年～50 年代に建設されたため、老朽化も同じ時期となる。教育環境の充実といった点でも取り組みをしていく必要がある。
- ・公共施設は 276 施設 663 棟の建物がある。この施設に係る修繕費の費用はこれからの 40 年間で 2,515 億円かかる。年間 63 億円にもなる。今は維持管理・更新に年間 36 億円かけているので、その 1.75 倍となる。このことから、施設のあり方や経費の平準化も検討をしていかななくてはならない。
- ・投資できる金額との整合性を図るためには、今後 40 年間に公共施設の約 21%を削減しなければならないというデータが出ている。削減することは市民の皆様も（総論では）ご理解いただけれると思うが、実際自分の地域から公共施設がなくなることは、その地域の方には困るという話になってくる。
- ・施設の統廃合を進める際には、様々な機能を併せ持った施設にしていくということ。
- ・例えば、初倉、六合の公民館に今年から正規の職員を配置した。館長として配置したが、役割の一つに地域と行政をダイレクトにつなぐ役割がある。公民館は社会教育施設として、生涯学習やイベントなどに使われてきたが、地域の情報や人材が集るように、地域の課題がストレートに行政に届きその返事が地域に戻るよという取り組みをはじめている。
- ・職員も一生懸命地域に入り込んでおり、地域からも認められ信頼されてきている。職員からしてみれば一生の財産（人脈、地域のつながり）をそこでつかむことになる。

■事前質問への回答について

番号	質問内容	回答内容
1	<p>■コミュニティバス運行時刻変更について</p>	<p>●菊川神谷城線は、昨年、運行経路の一部を変更して利便性向上を図るよう地元から要望をいただいております、その要望に応じた経路変更を次年度に予定している。また、それにあわせて菊川神谷城線と接続している大代線についても、タイヨー、金谷庁舎、夢づくり会館および北支所付近を經由する路線に変更する予定で、要望書のアンケートにもあるように、買物、通所また主要施設へ行くための不便さは解消されると思っている。</p> <p>また、時刻についても、障害のある方の通所などを考慮しながら修正を行い、菊川神谷城線から大代線への乗り継ぎ時間は5分程度にして、待ち時間の短縮も図ってまいります。</p> <p>こうしたことから、菊川神谷城線と大代線については、利便性の向上を目的に、経路変更と時刻の修正を行うので、今後ともコミュニティバスをご利用いただくよう、よろしくお願ひしたい。</p>
2	<p>■国道473号バイパス工事完成後の地域への影響について 地域にどのような影響があるか。例えば騒音など。</p>	<p>●市の見解</p> <p>1 期待される効果（良い影響）</p> <p>(1) 周辺道路の交通量減少による渋滞緩和と運転時間短縮</p> <p>①特に大型車両（通過交通）については国道1号からの車の流れ及び国道1号への車の流れが国道473号バイパスに流れることから、周辺道路（生活道路）の自動車交通量が減少し周辺地域の道路交通の安全が向上する。</p> <p>(2) 菊川インターのフルインター化により浜松方面への交通の利便性が向上する。</p> <p>(3) 国道473号バイパス事業における地元要望「県道吉沢金谷線の整備」により菊川方面との交通の利便性が向上する。</p> <p>2 考えられる影響</p> <p>(1) 電波障害、騒音による影響が考えられる</p> <p>①電波障害については、構造物完成時への対応として、3号高架橋周辺の</p>

		<p>菊川集落区域の電波状況の事前調査を実施している。</p> <p>②自動車騒音が発生し、対策が必要な場合には遮音壁等の対応が考えられる。</p> <p>(2) 道路面の雨水排水による周辺河川への影響が考えられる。</p> <p>①調整池の設置が計画されている。</p> <p>②菊川の河川改修〈浅川橋の架け替えもその一環〉を実施している。</p> <p>(3) 地元の管理している水源への影響が考えられる。</p> <p>①影響が発生した場合代替施設等の対応が考えられている。</p> <p>●県の見解（パンフレットから抜粋）</p> <p>(1) 地域経済を支援</p> <p>①御前崎港、富士山静岡空港、東名インターへの所要時間が短縮（10分～15分）し、通勤エリアが拡大する。</p> <p>②農水産物や製造品の物流が向上する。</p> <p>③海水浴などの観光がより身近になる。</p> <p>(2) 交通渋滞の改善</p> <p>①国道473号現道の交通混雑が緩和する。</p> <p>②周辺道路の渋滞緩和により、道路利用者の運転時間が削減される。</p> <p>(3) 安全・安心な生活環境の確保</p> <p>①幹線道路と防災拠点を結ぶ輸送路として防災機能が向上する。</p> <p>②快適な走行が確保され、救急患者を安静に搬送することが可能になる。</p>
3	<p>■浜岡原発再稼働について 市の考えをお聞きしたい。</p>	<p>●11月22日に福島県付近を震源とする震度5弱の地震が発生した。影響で福島第2原子力発電所3号機の燃料プールの冷却装置が自動停止し、1時間40分程度、使用済み核燃料などが冷却できなくなった。東電は、「センサーは正常に働いていた」という説明をしているが、東日本大震災の教訓が全く活かされていないと感じる。浜岡原子力発電所にも、同様に使用済み核燃料が保管されているが、福島第2原発のような事案が起こらない保障はない。再稼働の是非に関して、議会においても、何度かこのよ</p>

うな質問が出されており、その度に再稼動は認めることができないと答弁している。理由としては、「浜岡原発が運転停止している状況においても電力供給が足りていること」、「原発の周辺から避難を開始する避難計画において、島田市民が速やかに避難できるか疑わしいこと」（島田市は県内でも早く原発事故に係る避難計画を作成したが、10万人市民を逃がせるかということ、県の計画には大変な矛盾がある。隣接市がはじめに逃げることとなっている。我先に逃げて、渋滞になって情報も混乱する。）、「使用済み核燃料の処理方法が確立されていないこと」、そして何より、「想定外の事態に遭遇したことにより懸念される過酷事故に対して、市民の安全が100%確保できないこと」があげられる。

県知事も周辺市町の意見を聴くということを行っている中で、地元4市（御前崎市、牧之原市、掛川市、菊川市）が安全協定を中電と県と3者で締結しているが、3.11（東日本大震災）が起こることを想定していない協定である。ネジ一本替えるのにも事前了解がいる。それならなおさら、再稼動にも事前了解が必要であろうと考えている。中電と県とUPZ圏内の5市2町（島田市、焼津市、藤枝市、袋井市、磐田市、吉田町、森町）で7月8日に安全協定を結んだ。この協定締結には2年5ヶ月かかった。その理由として、地元4市に準じる安全協定を結びたいということで、事前了解の規定に関する調整（それぞれの首長の思い）が難しかった。今回、ようやく安全協定を締結できた。地元の4市について、県は必要と認める場合には浜岡原発に立ち入り調査を行うことができることとなっている。5市2町はその立入調査に同行できるということになった。立入調査の結果、必要であると認める時には、適切な措置を電力会社に求めることができる。地元4市の措置の要求があったときには、中部電力が5市2町に正しい情報を流すということになっている。この安全協定の中には解釈書という措置要領に基づき、事前通知がされて、事前協議を通じて実質的に事前了解が担保されることとなっている。



4	<p>■諏訪原城跡地を公園にするかの方向性を示してほしい。</p>	<p>●諏訪原城址は、国指定史跡となっており、平成38年度の事業完了が難しくなっている。国の補助金の付きが悪いことによるもの。立ち木の伐採、堀、案内板、トイレ、駐車場などの整備がされてきている。今年度は、城門を復元する。諏訪原城跡は、戦国時代の山城の特徴を今に伝える重要な史跡であるので、この史跡を後世へと適切に守り伝えていくとともに観光資源としても活用していきたいと考えている。史跡であるので公園としての整備は考えていない。市民にとって憩いの場となるよう整備を進めていく。遊具などは整備できない。</p>
5	<p>■菊川の里会館の運営及び維持費について 維持費が高額であり、特に電気料が高い。空調を更新したいが、見積もりの結果、かなり高額だった。</p>	<p>●先日、空調機の型が古いことにより電気料がかさんでしまっているため、新しい型の空調機への更新を検討してほしいとのことで、見積書を地元自治会より提出いただいた。全6台分の本体代と設置費に加え、既設空調機の取り外し費用及び処分費と電気工事等で約350万円となっており、まだ動く状況では、厳しい財政状況の中で、優先順位としてもどうしても低くなることから、引き続きご使用いただきたいと思います。</p> <p>金谷庁舎のエアコンが昨年壊れ、修理費に6,000万円もかかるということで、職員には、夏場もエアコンなしで業務を行ってもらった。</p> <p>菊川の里会館は、中山間地域総合整備事業により、地元の集会施設兼農産物加工施設として建てられた施設であり、維持は地元の管理運営委員会をお願いをしている。市は法定点検料など管理経費を負担し、地元には維持経費をお願いしている。</p>
6	<p>■菊神地区の高齢化率を抑制するには 高齢化が深刻化している。子どももほとんどいない状況。</p>	<p>●(H28.10.31現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島田市高齢化率 29.5%</li> <li style="padding-left: 20px;">年少人口割合(0歳~14歳) 12.7%</li> <li>・菊神地区高齢化率 35.9%</li> <li style="padding-left: 20px;">年少人口割合(0歳~14歳) 7.2%</li> <li>・高齢化率を抑制するには2つの方法が考えられる。</li> <li>①出生数の増加(自然増)</li> </ul>

		<p>②65歳未満の転入者の増加（社会移動による増）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市では、人口減少問題の克服に向け、平成27年10月に策定した「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、市民が安心して働き、結婚、妊娠、出産、子育ての希望を実現し、将来に夢や希望を持つことができる持続可能な暮らしやすい地域づくりを行うため、市の特性・魅力を生かした施策を推進している。</li> <li>・特に、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援により、子どもを産み・育てやすい環境の整備に努め、子育て世代から「暮らしなら島田」として選ばれるまちづくりを進めているところ。</li> <li>・「高齢化率が高い」ということは、もちろん、多くの課題があるとは思いますが、それ以上に「65歳を超えてから元気で自立して暮らせる期間」が重要であると思う。</li> <li>・65歳以上人口に占める要介護認定者数の割合を示した「要介護認定率」は、平成28年10月末現在、島田市全体が12.4%、菊神地区が8.6%で、－3.8ポイントとなっており、菊神地区は元気な高齢者が多いことが分かる。</li> <li>・今後も、人口減少・少子高齢化社会を迎える中、島田市が活力あるまちであり続けるため、地域が直面する課題の解決を図り、市民が将来にわたって、健康的に暮らしやすいまちの実現を目指す。</li> </ul>
--	--	--

③質疑応答

番号	質問内容	回答内容
1	<p>■スクールバスについて</p> <p>牧の原自治会の車座トークでスクールバスの質問があったと思うが、1か月経っているのですが、その結果はどのようになっているのか。</p>	<p>●私から翌日に教育長に話をしている。聞いたお話と現実が若干違うところもある。もう一度確認する。とにかく早くにお答えする。【検討事項1】</p>



	<p>以下、牧の原自治会との車座トークでの質問</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>スクールバスのルートは、猪土居・切山ルートと菊川橋・神谷城ルートがあり、猪土居・切山ルートは出発が 6:45 で学校到着が 7:10 で所要時間が 25 分。菊川橋・神谷城ルートは、7:00 出発で、学校到着が 7:25 で同じく 25 分の所要時間となっている。しかし、この 9 月から 1 台のバス（ルート）となった。7:00 に出発して学校到着が 7:55 で所要時間は 55 分となっている。長時間バスに乗ることから、乗り物酔いをする生徒もいるし、学校の行事の時には保護者が送迎している。（渋滞にはまって会社に遅れてしまうこともある。）登校は 1 台。帰りは 2 台となっている。何とか前の状態に戻せないか。</p> </div>	
<p>2-1</p>	<p>■国道 1 号について 沿線が草だらけで芳しくない。知事もホテルを解体する、看板の撤去によって景観をよくするなどの報道がされていた。街中ばかりがきれいになっていくような気がする。田舎には目が行き届いていないのではないか。</p>	<p>●除草が追いつかないのは事実。市有地については、年 2 回は草を刈っている。国道 1 号は国が管理で、河川も県の管理のものもある。インフラによって管理する組織が違う。道路標識に蔦が絡まって見えない状況になっていたものは県の土木に連絡したこともある。県管理の河川の浚渫もご要望はいただくが、国、県も予算に限りがある中で、リバーフレンドシップ、道路の愛護協定を締結して、草刈機の貸与、燃料の支給などを国県が行い、地元の皆さんにお手伝いをいただいている。</p>
<p>2-2</p>	<p>■民主党政権時にインフラへの予算が減ったことが、現状となっていると思う。</p>	<p>●国も県も道路などを造る予算は 15 年位前に比べ約 3 分の 1 程度しか確保できなくなってきた。平成 12 年頃には道路関連の国の予算は約 16 兆円。今は 5.2~5.3 兆円。新規の道路整備についても、計画年度以降に後回しになるようなこともおきている。</p>
<p>3-1</p>	<p>■コミュニティバスについて 乗り継ぎ路線は従来どおり大代線ということか。</p>	<p>●経路変更を予定している菊川神谷城線にあわせて、接続している大代線についても、経路変更している。タイヨー、金谷庁舎、夢づくり会館および北支所付近を経由する路線に変更する予定。</p>

3-2	<p>■夕方5時に出て、菊川にまわるバスについて、金谷駅に5時1分に到着時間の電車があるので、あと5分出発時間を遅らせてくれると接続がいい。JRとの同期が必要なのではないのか。人が乗ってなくても、私（市）の給料には関係ないよという考えでは困る。</p>	<p>●そんなことは思っていない。できるだけ多くの方に御利用いただきたいと思っている。障がい者の方が施設に通う時間や子どもの通学時間などを考慮しながら対応している。</p>
3-3	<p>■それを考慮して、今の時刻表になっているのか。</p>	<p>●この5時に出るバスのことがそこまで考慮しているかその詳細は承知していない。</p>
3-4	<p>■JRとの接続について配慮をお願いしたい。</p>	<p>●要望については担当に伝えていく。</p>
3-5	<p>■自治会長から 先日、生活安心課の職員がコミュニティバスのことについてお見えになった。来年から9人乗りになるとの説明があった。利用者が少人数であるため大丈夫だとの説明があった。 通勤、通学時間帯にたくさんの方が乗りたいとなったとしたら9人乗りでは無理ということになる。</p>	<p>—</p>
3-6	<p>■そうではなく、たまたま静岡に行って、その時間のバスに乗ろうとしたら接続が悪かった。</p>	<p>—</p>
3-7	<p>■自治会長から バスの大きさ、巡回コースが変わるので、地図、時刻表を配布することなので、不都合なら生活安心課に相談してほしい。 バスの利用形態は十人十色なので、全員の方に御満足いただけるかどうかはわからないが、これが一番ベターな時刻等になるという話だったのでまたご検討いただきたい。</p>	<p>●小型のバスに変更するということは、乗客数などのデータをとって分析しているからである。</p>
4	<p>■災害時の地元以外の避難民の受け入れについて この地域は地すべり地帯であるという説明を県の土木から説明を受けた。またハザードマップができれば詳しく説明をしてほしいと思っている。 また、気になっているのは、大規模地震が起きた場合、国道1号バイ</p>	<p>●国道1号バイパスは高規格道路で整備されているので、壊れて通れなくなるという想定はない。 災害時には最寄りのインターチェンジから降りて避難する場合が想定される。この人たちに対する対応（避難所、食糧、渋滞など）は深刻な課題である。</p>

	<p>パスが遮断された場合、この地域に通行中の人たちが入ってきた時に、避難する場所がない。</p> <p>雨の時には、この会館も川の近くで危ない。逃げる場所がない。大きい道があるところは、周辺で逃げる場所がない場合の対応はどうすればいいのか。避難民を受け入れても食糧の備蓄もない。</p>	<p>●眞部危機管理部長回答</p> <p>個人が備蓄すべき最低3日間の食糧。市が10万食の備蓄。自主防の8割が補助金を活用して備蓄をしている。市外の人が避難する人数は最低3,000人、多くて7,000人と推定している。この人たちは、一次、二次、三次避難所で一旦は受け入れて、市の備蓄品で対応することになると思う。</p> <p>この人たちをできるだけ早く市外に避難できるように対応はしていく。</p> <p>国道1号バイパスからの避難民を、菊川の里会館で受け入れることは市としては考えていない。</p> <p>●以下市長</p> <p>災害時に逃げることばかりを考えているが、基本は自宅で暮らすことを考えてほしい。そのためには備蓄、耐震などの対策を講じておいてほしい。雨の対策と地震の対策は全く違うので、その地域の状況に応じた対策をお願いしたい。</p>
<p>5-1</p>	<p>■国道473号バイパスについて</p> <p>国道473号バイパスの完成がいつになるかわからないが、その間、大型車両の通行によって道路が傷んでいる。すぐやる係にお願いしてもすぐに穴が開いてしまうような状況。舗装だけでもお願いできないか。</p>	<p>●話はしてみるが、いずれ大型車両は473に戻る車両である。倉沢から菊川インターチェンジまでを優先して事業が進んでいる。島田金谷バイパスも4車線化の事業に着手している。4車線化に伴い、大代インターチェンジのランペットも大きくなる。国道473号の4車線化について、最初に実施したい箇所として、主要地方道焼津森線と市道島竹下線の交差点の改良を実施していきたい。</p>
<p>5-2</p>	<p>■自治会長</p> <p>今のお話は、旧牧之原の分校から130mの区間について舗装を実施するとのことである。順次進めていくとの話があった。この件は回覧をして情報共有をしているところ。</p>	<p>—</p>
<p>6-1</p>	<p>■菊川の里会館の空調設備について</p> <p>この会館の運営費について、30万円（産廃の慰料）が入ってこない。築20年を経過して、この会館の支出は114万316円、そのうち電気料が57万円。動力エアコン（三層用）。企業用の契約なために基本料が</p>	<p>●市内にも様々な施設があるが、自前で建設をしてもらって、維持管理もお願いし、エアコンを使うために100円を入れて電気料の支払いに充てているところもある。</p>

	<p>高い。従って、家庭用のエアコンに切り替えたらどうかということの中電に提案された。家庭用（単層用）の機器について 350 万円は最高の金額なので、7 掛け、8 掛けでもできると思う。区費は 14,000 円×88 戸＝約 120 万円なのでいかに電気料が高いということ。動力の基本料金が高いので農林課に見積もりを出した。電気料を市が負担してくれればいいが。</p>	
6-2	<p>■ここでも使用料（空調）はいただいている。</p>	<p>●家庭用の契約にするには機器を変えなければいけないということのお話であることはわかった。</p>
6-3	<p>■さんぽ茶屋からの賃借料も 15,000 円を 20,000 円にしてもらっている。検討してほしい。</p>	<p>●状況はわかった。</p>
7	<p>■市の施設の開館日について 図書館などの市の施設は月曜日休みをなくして、交替で職員が休むことで対応できないか。勤務の都合で月曜日に行きたい方もいるので。 (特に図書館)</p>	<p>●指定管理に出しているところは無休のところもある。図書館の曜日によっては夜間も開館している。市民サービスの向上という点では検討課題ではあると考える。公民館に本を持ってきてもらって受け取るなどのサービスはしている。職員もぎりぎりのローテーションで業務を行っているので、人員の増員という課題もある中、どういう方法が、市民の皆様の使い勝手の良さにつながるのか検討させていただく。市民サービスの向上については考えさせていただく。</p>
8	<p>■島田市の観光への取り組みについて 島田もフィルムサポートなどによって、有名人のポスターやサインの書かれたものがあると思うが、そういうものを見せることができる場所などがあるといいのではないか。</p>	<p>●ロケツアーなどについては議会でも御提案をいただいた。 定期的に大鐵の社長と会う機会があり、大鐵はフィルムサポートのロケ地として使われているので、プラザロコの中に展示させてもらうことも一つではある。前田社長にあったときをお願いはしてみる。大鐵の意向もあるので何ともいえないが。</p>
9-1	<p>■にぎわい交流拠点について にぎわい交流拠点について情報が入ってこない。市としてどのように考えているのか。公表してほしい。</p>	<p>●NEXCO 中日本、大井川鐵道、JA 大井川、島田市の 4 者が連携し、新東名高速道路島田金谷 IC 周辺に、地域の特産品を集めた販売所や、カフェやレストランなどが入る施設を建設する予定。売り場面積が今のところ日本一となるマルシェとなる見込み。大鐵は新駅建設も検討している。大鐵は再建途中の会社ではあるが、すぐそばに駐車場があるといった意味では、大</p>

		<p>きな期待を持って取り組めると考えている。また、市は、新東名の下に、国の占用許可をとって、約1,000台弱の駐車場を造る予定となっている。</p> <p>(今後、新東名のバス路線を見据えた計画でもある。)首都圏からの観光バスの往復500kmの位置として、交流拠点の位置あたりになるので、バスを降りてつながる観光の拠点とすることに加えて、空港周辺のこの地域にも交流人口の増加につながる導線を考えていきたい。奥大井につながる観光の拠点であり、大井川流域の農産物をここに集めて売る。(JAのコンセプトは、農業で地域が元気になるということ。)NEXCO中日本はETC2.0型(ETCで降りた場合の料金のカウントを変えない方法)を検討している。密に連絡を取り合いながら計画を進めていく。JA大井川ではプロジェクトチームを立ち上げて積極的に検討をしていただいている。最短で平成30年5～6月に着工できる計画で頑張っている。31年初夏にはオープンさせたいという計画だと聞いている。主に建物を建てるのはJA大井川になる。</p>
9-2	<p>■市の予算は確保されているのか。</p>	<p>●市は、基本計画はつくったが、主にJA大井川が建物を建てることになっている。</p>
10	<p>■島田市観光大使について 金谷中学出身で、セクシーゾーンの松島君がいるが、観光大使に任命したら発信力、話題性があるのではないか。</p>	<p>●島田では「ふるさと大使」に日通の川合会長、俳優の別所哲也氏、落語家の三遊亭遊喜師匠、観光大使に山本譲二氏を任命している。皆さんそれぞれの分野で島田市をPRしていただいている。</p>
11	<p>■浜岡原発の再稼働について 自治会で浜岡原発の説明会に出かけたが、国としては再稼働を考えている。市長は反対。どこまで地元で止めることができるのか。 中電では原発のメリットを強調するが、事故によるリスクもあるので、どちらの方向になっていくのか見えてこない。</p>	<p>●中電は力をいれていることは、それだけ力を入れなければいけない状況だと思っている。最終的には県が判断すると思うが、知事は地元のことは理解してくれていると考えている。ただ、原発の地元4市でも牧之原市、吉田町は廃炉を訴えている。御前崎市は再稼働に前向きであろう。こうしたことから調整は困難であると考え。ただ、3.11の福島の状態を考えると、あの地域の人たちの人生はめちゃくちゃになってしまった。地域の皆様の安心・安全・環境のことを思うと私は(再稼働には)反対という意見を持っている。</p>

<p>12</p>	<p>■島田市緑茶化計画と茶業振興について 緑茶化計画と茶業振興の方向性を教えてほしい。</p>	<p>●緑茶化計画はシティプロモーションの一環である。</p> <p>海外には「島田市は緑茶のまち」であることを、ネームブランドとして、輸出茶を売るためにPRしていく。市民に対しては、島田は緑茶のまちということに誇りと自信を持つブランド力を身に付けること。こうしたことによつて、市外（国内）には、島田市は緑茶のまちであることを認識してもらい、島田のお茶の消費や島田に来ていただける施策を打っていく。</p> <p>緑茶化計画がお茶の振興全てではないが、茶葉でお茶を飲む人が減つて、3.11の風評被害による茶葉の価格の低迷、その後は、価格が上がるかと思つたら凍霜害があつた。しかしその後も価格は上がつてこない。これは、消費者がお茶を買わなくなったことのアラわれである。</p> <p>このため、活路は規模の拡大（法人化や会社経営）、若い人が茶業の担い手となる付加価値の高い茶業環境をつくっていききたい。西原地区、切山でも茶園基盤整備事業を行つており、若手の農業者が頑張つてくれている。</p> <p>農地中間管理機構や人農地プランなどによる農地の拡大、ガンバル認定農業者支援事業、有機JAS認定、残留農薬の検査費用の補助、テン茶栽培の活動の支援などに取り組んでいる。（大代には研究会がある。）</p> <p>耕作放棄地については、専門員をつけて解消しようという取り組みも行つており、昨年度は内閣総理大臣賞をいただいている。しかしながら、放棄地対策はなかなか追いつかないのが現状である。</p> <p>有機農法（農薬を使わない栽培）については、山間の一団の塊になつた土地でないと難しい。牧之原台地の茶園のように、日当たりの良い広範囲の茶園は、有機農法には向いていない。時代の流れによつて求められるものが変わつてきていることを実感する。</p> <p>来年度は農業支援に加え、出口の支援にも取り組んでいく。お茶が売れることが必要なので、お茶屋さんへの支援も専門員をつけてサポートしたい。おいしいお茶を作るという点では、この島田は全国に名立たる生産地である。差別化を図つて島田のお茶を売り込んでいきたいし振興策に取り</p>
-----------	--	--



		組んでいきたい。
--	--	----------

※ 4の一部以外は全て市長から回答した。

④当日の様子



⑤検討事項に対する対応（報告）

質疑応答番号 検討事項番号	検討内容（市長の発言）	市からの回答（対応状況）
1 検討事項1	<p>●私から翌日に教育長に話をしている。聞いたお話と現実が若干違うところもある。もう一度確認する。とにかく早くにお答えする。 【検討事項1】</p>	<p>■金谷地区スクールバスは、2台のバスで中学校の登校終了後、折り返し小学校の登校便として運行していました（2台で2往復）。2学期以降、小学校の神谷城地区の児童が転出し、この地区のバスに乗る児童が1人になってしまいました。そのため、小学校便を1台のバスで運行することとし、ルートの変更を検討しました。同時に中学校の登校便が早すぎるという点を解消するために、中学校のルートを一本とする案を検討し、学校の下承を得て9月から変更いたしました。</p> <p>今回ご意見を頂きましたので、改めて地元の皆様のご意見を伺</p>

		<p>うために、保護者様当てにアンケートを実施したいと考えます。 その結果により、多くの皆様のご要望に沿ったスクールバスの運 行を検討したいと考えます。</p>
--	--	--